

令和 6 年 度

福岡市交通安全実施計画の主な実績

福岡市

目 次

交通安全施設等整備事業（公安委員会）	1
交通安全施設等の現況（公安委員会）	1
交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	2
交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）	3
交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）	3
交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）	3
駐車対策（福岡市道路下水道局） 「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた 附置義務駐車施設や駐車場法に基づく届出（路外）駐車場の整備	4
高齢者等の移動手段の確保（福岡市住宅都市みどり局）	4
交通マネジメントの推進（福岡市住宅都市みどり局）	4
道路使用の適正化 路上における違反広告物 （はり紙、はり札、立看板等）の除却作業（福岡市住宅都市みどり局）	5
自転車駐車対策 市営自転車駐車場整備状況（福岡市道路下水道局）	5
子どもの遊び場等の確保 （１）街区公園等の整備（福岡市住宅都市みどり局）	6
（２）放課後等の遊び場づくり事業（福岡市教育委員会）	6
児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育 （１）交通安全教室（福岡市市民局）	7
（２）保健・安全教育担当者連絡会（福岡市教育委員会）	7
（３）子どもの交通安全に関する配付物（福岡市市民局）	7
広報活動の充実（福岡市市長室・市民局）	8
気象情報等の充実（福岡管区气象台）	9
自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	11
自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）	11
救命講習会実施状況（福岡市消防局）	12
交通事故相談活動（福岡市市長室）	12
目標達成に向けた各区の施策	13

交通安全施設等整備事業（公安委員会）

（単位：千円）

種 別		事 業 名	事 業 の 実 績	
			事 業 量	事 業 費
交通安全施設等整備事業	交通管制センター	○交通管制システム	1式	337,509
	信号機	○新 設 ○改 良	6基 87基	346,419
	道路標識	○大型式 ○路側式	0本 1,346本	79,414
	道路標示	○横断歩道（新設等） ○実線標示（新設等） ○図示標示（新設等）	1,094本 808か所	63,196
合 計			—	826,538

交通安全施設等の現況（公安委員会）

区 分		数 量
信 号	集 中 式	726 基
	定 周 期 式	785 基
	押 ボ タ ン 式	509 基
	感 応 式	58 基
	一 灯 式	76 基
	踏 切	1 基
	計	2,155 基
道路標識	大 型 式 標 識	1,343 本
	路 側 式 標 識	48,128 本
道路標示	横 断 歩 道	9,811 本
	実 線 標 示	365 km
	図 示 標 示	26,903 か所

（注）数値は令和6年度末現在

交通安全施設等整備事業（福岡国道事務所）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
交差点改良、歩道整備、 自転車通行空間整備	2か所	55,000	2か所	55,000
国道3号、201号、202号 防護柵 区画線 視線誘導標 等	—	217,820	—	217,820

交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

種 別		事業の計画		事業の実績	
		事業量	事業費	事業量	事業費
一 種	歩 道	5.4km	1,625,079	3.2km	1,111,235
	自 転 車 歩 行 者 道	0.5km	110,000	0.7km	400,646
	歩 行 空 間	15.5km	305,810	24.3km	294,543
	そ の 他（注1）	—	845,000	—	108,399
	小 計	—	2,885,889	—	1,914,823
二 種	防 護 柵	4.5km	142,975	3.0km	144,166
	照 明 灯	366基	234,336	296基	290,356
	反 射 鏡	189基	62,700	106基	35,997
	道 路 標 識	28基	39,000	42基	33,409
	区 画 線	64.4km	160,500	119.2km	211,505
	自 転 車 駐 車 場	6箇所	210,000	3箇所	126,447
	そ の 他（注2）	—	1,701,054	—	2,817,117
	小 計	—	2,550,565	—	3,658,997
	合計	—	5,436,454	—	5,573,820

（注1） その他は、自転車通行環境や横断歩道橋等の整備費。

（注2） その他は、視覚障がい者誘導用ブロック等の整備費。

交通安全施設等整備事業（福岡市道路下水道局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画	事業の実績
	事業費	事業費
特定交通安全施設等整備事業	1,927,209	2,803,584
地方単独交通安全施設等整備事業	3,509,245	3,806,463
計	5,436,454	6,093,375

交通安全施設等整備事業（福岡北九州高速道路公社）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
区画線	13,329m	16,777	15,190m	25,589
排水性舗装	29,419㎡	700,657	20,096㎡	627,301
事業費計	—	717,434	—	652,890

交通安全施設等整備事業（福岡市港湾空港局）

（単位：千円）

事業内容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
臨港地区内区画線	9,851m	8,189	3,685m	5,239

駐車対策（福岡市道路下水道局）

「福岡市建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受けた附置義務駐車施設や
駐車場法に基づく届出(路外)駐車場の整備

種 別	令和4年度(実績)		令和5年度(実績)		令和6年度(実績)	
	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数	箇所数	施設台数
附 置 義 務 駐 車 施 設	59	2,249	53	1,726	68	1,859
届 出 駐 車 場	8	1,701	14	3,186	10	2,978
計	67	3,950	67	4,912	78	4,837

※届出駐車場の集計には、附置義務駐車施設に該当するものを除く。

高齢者等の移動手段の確保（福岡市住宅都市みどり局）

事 業 内 容	実 施 状 況	事 業 実 績
公共交通のバリアフリー化	ノンステップバス導入への補助	導入率：44.4%
	ユニバーサルデザインタクシー導入への補助	導入率：22.2%（7月頃確定） R4n時点のタクシー総台数を分母として算出
	鉄道駅のバリアフリー化への補助	鉄道駅のバリアフリー化率：73.5%
生活交通の確保	路線バスの休廃止に伴い公共交通空白地となる地域において、代替交通の運行経費に補助。	補助路線：5路線 （新たな公共交通空白地の発生：0地区）
	オンデマンド交通社会実験の実施。	エリア①東区 エリア②南区 エリア③中央区・城南区

交通マネジメントの推進（福岡市住宅都市みどり局）

事業内容	実 施 状 況	事 業 実 績
自動車から公共交通機関への利用転換の促進	①モビリティ・マネジメントの実施 各区への市外からの転入者を対象に、公共交通に関するパンフレットやチラシ（時刻表、路線図等）をセットにして配布。	① ー
	②パーク・アンド・ライド（P&R）の実施 商業施設等と連携した取り組みを実施。	② 9施設で実施。

道路使用の適正化

路上における違反広告物(はり紙、はり札、立看板等)の除却作業 (福岡市住宅都市みどり局)

(単位：千円)

事業内容			事業の計画		事業の実績	
			事業量	事業費	事業量	事業費
除却作業	委託	徒歩による除却	延534回	(委託料) 3,434	延534回	(委託料) 3,383
		車両による除却	延426回	(委託料) 12,740	延431回	(委託料) 11,767
路上違反広告物追放 推進団体への支援			延1,322人	(ボランティア保険等) 40	延1,165人	(ボランティア保険等) 40
計				16,214		15,190

自転車駐車対策

市営自転車駐車場整備状況 (福岡市道路下水道局)

事業の計画		事業の実績		令和6年度末まで	
設置箇所	収容台数	設置箇所	収容台数	設置箇所	収容台数
0	0	0	0	132	48,143
(0)	(0)	(0)	(0)	(89)	(38,536)

* () 内は、有料自転車駐車場の数で内数

子どもの遊び場等の確保

(1) 街区公園等の整備 (福岡市住宅都市みどり局)

公 園 種 別	事業の実績	
	箇 所	面 積 (㎡)
幼 児 公 園	661	220,909
街 区 公 園	715	1,596,478
近 隣 公 園	75	1,226,269
地 区 公 園	10	518,287
総 合 公 園	9	2,676,448
運 動 公 園	6	1,035,550
計	1,476	7,273,941

(2) 放課後等の遊び場づくり事業 (福岡市教育委員会)

(単位 : 千円)

事 業 内 容	事業の計画		事業の実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費
昼 間 校 庭 開 放 事 業	139箇所	505,610	139箇所	478,434
わ い わ い 広 場	142校		142校	

児童・生徒・高齢者等に対する交通安全教育

(1) 交通安全教室（福岡市市民局）

区 分	幼児	小学生	中学生	高校生	特別支援学校	大学生
回 数	356	312	52	14	6	3
参加人員	28,256	29,172	13,467	9,664	208	379
区 分	専門学校生	留学生	高齢者	一般	計	
回 数	5	12	70	42	872	
参加人員	302	736	1,875	3,884	87,903	

(2) 保健・安全教育担当者連絡会（福岡市教育委員会）（単位：千円）

事 業 内 容	事 業 の 計 画		事 業 の 実 績	
	事 業 量	事 業 費	事 業 量	事 業 費
保健・安全教育担当者連絡会	年1回	0	年1回	0

(3) 子どもの交通安全に関する配付物（福岡市市民局）（単位：千円）

品 名	配 布 対象者	事 業 の 計 画		事 業 の 実 績	
		事 業 量	事 業 費	事 業 量	事 業 費
1 黄 色 い 帽 子	小学新1年生	14,500個	6,000	14,500個	6,619
2 交通安全ランドセルカバー	〃	15,000枚	1,564	15,100枚	1,801
3 子どもたちのセーフティプラン	市立小学新1年生 市立小学新4年生 市立中学新1年生	市HPにて 公表	—	市HPにて公表	—

広報活動の充実（福岡市市長室・市民局）

（単位：千円）

事業内容		事業の計画		事業の実績		備考
		事業量	事業費	事業量	事業費	
市政だより		—	—	3回	—	特定小型原動機付自転車の交通ルール 飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進
ホームページ		随時	—	随時	—	飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進 高齢者の交通安全対策 等
DVD貸出し		—	—	15回	—	
ポスター・チラシなどの啓発物		—	—	ポスター・チラシ等 209,441枚 啓発物 12,300個	1,369	飲酒運転撲滅 自転車安全利用の推進 四季の交通安全運動 等
飲酒運転撲滅啓発	TVCM・Youtube・デジタルサイネージ	随時	—	随時	—	飲酒運転撲滅
	新聞広告	—	—	随時		

気象情報等の充実（福岡管区気象台）

事業内容	実 施 状 況
天気予報・ 季節予報の発表	日々の天気予報 毎日発表（分布予報・時系列予報）
	週間天気予報 毎日発表
	1 か月予報 毎週木曜日発表
	3 か月予報 毎月25日頃発表
	暖候期予報 2月25日発表
	寒候期予報 9月24日発表
気 象 説 明 会	<p>定例会見を年12回（毎月1回）実施 その他大雨が予想される場合等に随時実施 場所：福岡管区気象台 参加人員：毎回約10～40名（報道機関等） 合計 21回（内5回は九州地方整備局との合同開催、16回はオンライン開催）</p>
防災気象連絡会	<p>5月15日、16日 オンラインで実施 （福岡地区からの参加者 15日：36名、16日：19名）</p>
台 風 説 明 会	<p>5回実施（福岡管区気象台または九州地方整備局で実施しTeams等オンラインでも配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月26日 14時00分（台風第10号） ・8月27日 14時00分（台風第10号） ※ ・8月28日 7時30分（台風第10号） ※ ・8月28日 14時30分（台風第10号） ※ ・8月29日 11時30分（台風第10号） ※ <p>※は九州地方整備局等との合同記者会見</p>
気象警報・ 注意報等の 発表	<ul style="list-style-type: none"> ・特別警報発表回数 福岡市 0回 ・警報発表回数 福岡市 18回 ・注意報発表回数 福岡市 279回 <p>※個々の警報・注意報発表回数をカウントする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報 1回 ※発表から解除までを1回とカウントする。 ・指定河川洪水予報の回数（御笠川対象） 氾濫発生情報0回 氾濫危険情報0回 氾濫警戒情報0回 氾濫注意情報0回
津波警報・注意報 の発表	<p>津波予報区「福岡県日本海沿岸」に発表した津波警報・注意報</p> <p>警報発表回数 0回 注意報発表回数 0回</p>
緊急地震速報の 発表	<p>予報区域「福岡県福岡」に発表した緊急地震速報（警報）</p> <p>警報発表回数 1回</p>
地震情報	<p>福岡市内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数</p> <p>地震情報 5回</p>

気象情報等の発表	福岡県気象情報 251回 大雪に関する緊急発表（国土交通省地方支分部局等との連携による） 1 回
資料の作成・配付	「九州・山口県 防災気象情報ハンドブック2024」 毎年 1 回発行 配布機関：市内防災機関、報道機関等 令和 6 年 4 月発行

自動車検査体制の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
指定自動車整備工場 立入監査	1,078工場に対して 1工場年1回の立入監査	149工場に対して 1工場年1回の立入監査
自動車検査員研修	実施時期 令和7年1月～2月 実施回数 26回 研修予定人員 3,800名	実施時期 令和7年1月～2月 実施回数 26回 研修人員 3,289名

自動車整備の充実（九州運輸局福岡運輸支局）

事業内容	事業の計画	事業の実績
整備主任者研修	実施時期 令和6年10月～11月 実施回数 24回 研修予定人員 3,800名	実施時期 令和6年10月～11月 実施回数 24回 研修人員 6,557名
整備管理者研修	実施時期 令和6年7月～令和7年3月 実施回数 7回 研修予定人員 2,500名	実施時期 令和6年7月～令和7年3月 実施回数 7回 研修人員 2,472名

令和6年中 救命講習会実施状況（福岡市消防局）

応急手当普及員講習		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		救 急 講 習	
回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数
20 回	457 人	25 回	631 人	447 回	12,231 人	201 回	4,360 人	440 回	11,278 人

※応急手当普及員講習（24時間講習、認定証交付）

上 級 救 命 講 習（8時間講習、修了証交付）

普 通 救 命 講 習（3時間講習（WEB講習含む）、修了証交付）

救 命 入 門 コ ー ス（90分講習、参加証交付）

救 急 講 習（90分未満の講習、修了証なし）

交通事故相談活動（福岡市市長室）

事 業 内 容		事 業 の 計 画	事 業 の 実 績
		事 業 量	事 業 量
交通事故相談所の運営		300件	249件
研 修		2回	1回
広 報	ふくおか市 生活ガイド	33,000部	33,000部
	相談窓口ガイド	4,000部	1,500部
	市ホームページ	常時	常時

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	東 区	
1 施策の概要		
区の抑止目標達成に向け、令和6年度は下記の施策を実施し、東警察署、東福岡交通安全協会、東区交通安全推進協議会などの関係機関と共に、交通事故防止に取り組んだ。		
(1) 交通安全思想の普及徹底		
ア 広報啓発活動		
・ 四季の交通安全運動キャンペーン		
・ 飲酒運転撲滅啓発活動		
・ 自転車の安全利用キャンペーン		
・ 交通安全のぼり旗、ポスターの掲示		
・ 交通安全啓発ビデオ、DVDの貸出		
・ 交通安全教室		
イ 交通安全教室実施結果		
対象	実施回数	参加人員
幼児	83回	4,917人
小学生	62回	6,095人
中学生	10回	1,921人
高校生	1回	2,994人
高齢者	6回	120人
計	162回	16,063人
(2) 交通安全施設整備		
・ 歩道、路面標示、カーブミラー、区画線等の新設、補修		
・ 関係機関との連絡調整		
2 問題点及び課題		
東区における令和6年中の交通事故発生件数は1,035件で、前年比96件減、死者数3人で前年比増減なし、傷者数1,298人で前年比110人減と全体的に減少傾向となった。		
(1) 四季の交通安全キャンペーンや飲酒運転撲滅啓発活動に職員が積極的に参加し、区役所窓口やロビー、通用口に啓発品を置くなど、市民に向けた継続的な交通安全や飲酒運転撲滅に関する意識啓発を図っていく。		
(2) 前年と比べて全体的に減少傾向ではあるが、引き続き高齢者を中心に幅広い世代を対象とした交通安全意識の向上を図る必要がある。		

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	博 多 区	
1 施策の概要		
(1) 交通安全思想の普及徹底		
ア 啓発活動		
・交通安全教室の実施（保育園（所）、幼稚園、小学校、高齢者、留学生等）		
・四季の交通安全啓発キャンペーン（JR博多駅前広場等）		
・セーフティステーション（福岡国際会議場前等）		
・自転車街頭指導（福岡サンパレス前）		
・山笠男衆による交通安全宣言（川端商店街）		
・自転車マナー向上呼びかけ活動（JR博多駅前広場等）		
・自転車マナーアップ啓発イベント（JR博多駅前広場等）		
・飲酒状態体験ゴーグル貸し出し		
イ 交通安全教室等実施結果		
	対象	実施回数
	幼児	50回
	小学生	36回
	中校生	9回
	高校生	1回
	高齢者	7回
	一般(留学生含む)	1回
	計	104回
		参加人員
		3,962人
		3,008人
		1,544人
		700人
		206人
		58人
		9,478人
ウ 広報活動		
・交通安全のぼり掲示（交通安全期間中）		
・交通死亡事故多発のチラシの校（地）区回覧（随時）		
・市政だより区版への掲載・区役所内でのアナウンス（交通事故防止に関する呼びかけ）		
エ 子ども、高齢者への交通安全推進活動		
・高齢運転者を対象としたドライビングスクールの実施 （アイルモータースクール博多の森 4/16）		
・交通安全施設の点検・整備促進（随時）		
(2) 道路交通環境の整備		
ア 道路交通環境の整備		
・歩道、カーブミラー、ガードレール、標識等		
・スクールゾーン内の交通安全施設の点検 （9/24 東住吉校区、11/12 千代校区、11/28 堅粕校区、12/3住吉校区、 12/17 吉塚校区、1/27 東吉塚校区）		
2 問題点及び課題		
令和6年中の博多区における交通事故発生件数は1,198件で前年比117件減、負傷者数は1,480人で前年比106人減、死者数は2人で前年比8人減となっている。		
今後も、更なる減少に向けて、継続させる必要がある。		
(1) 高齢者の交通事故防止のため、校区単位での高齢者交通安全教室の強化を行う。		
(2) 子供の歩行中の事故、自転車通行中の事故に対し、教室の強化・校区及び学校への啓発活動を行う。		
(3) 交通安全施設整備を充実させ、事故防止に努める。		
(4) 交通ルールの遵守・マナー向上のために周知徹底を強化する。		
(5) 未だに起きている飲酒運転の撲滅のために、イベント内での飲酒ゴーグル体験など啓発を継続させる。		

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	中 央 区	
1 施策の概要		
区の抑止目標の達成に向け、校区交通安全推進委員会、警察、交通安全協会等の関係機関が一体となり、交通安全思想の普及と道路交通環境の整備を図った。		
(1) 交通安全思想の普及		
ア 啓発活動		
・ 四季の交通安全運動期間に、地域・警察と連携した啓発活動や街頭指導を実施。		
イ 各種交通安全教室の実施		
対象	実施回数	参加人員
幼児	30回	2,516人
小学生	28回	3,350人
中学生	2回	1,121人
高校生	0回	0人
一般	6回	492人
高齢者	6回	205人
計	72回	7,714人
ウ 広報活動		
・ 市政だより中央区版や区役所1階のコミュニティビジョンを活用した広報活動を実施。		
エ 子どもと高齢者の交通事故防止活動		
・ 市内小・中学校などの2学期最初の登校日（令和5年度は8月28日）を「中央区交通安全の日」とし、全校区で児童等の保護誘導や巡回パトロールを実施。		
・ 高齢者を対象に、反射材を配布するなどの啓発活動や高齢者交通安全教室を実施。		
オ 自転車の安全利用に関する推進活動		
・ 毎月8日の自転車マナーアップの日に、地域と共働したキャンペーンを実施。		
カ 飲酒運転撲滅に関する活動		
地域や警察、企業等と共働した飲酒運転撲滅キャンペーンを実施。		
(2) 道路交通環境の整備		
ア 地域からの道路環境整備の改善要望について、関係機関と調整し、必要な施設の整備を行った。		
イ 中央区内のスクールゾーン路面標示の総点検を行い、補修等を行った。		
2 問題点及び課題		
令和6年中の中央区内の交通事故発生件数は871件（前年比-9件）、死者数3人（前年比-2人）、傷者数1,039人（前年比-7人）であり、前年と比較していずれも増加した。自転車関連の交通事故発生件数は203件（前年比-47件）で、全事故件数の23.3%（全市では22.2%）と大きな割合を占めているため、自転車利用者の安全利用や交通マナー・ルールの遵守に向けた取り組みを推進する必要がある。		
【重点目標】		
(1) 横断歩道マナーアップ運動の推進		
(2) 自転車マナー向上の推進・自転車事故の防止		
(3) 高齢者交通安全の推進		
(4) 飲酒運転撲滅運動		
(5) 交差点での交通事故防止		

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策																															
行 政 区	南 区																															
1 施策の概要																																
(1) 交通安全思想の普及徹底																																
ア 啓発活動																																
<ul style="list-style-type: none">交通安全教室の実施(幼稚園、保育園、小学校、校区など)交通安全推進街頭キャンペーン(西鉄大橋駅及び井尻駅周辺)飲酒運転撲滅キャンペーン(南区役所)セーフティステーション(西鉄大橋駅周辺)高齢者交通安全キャンペーン(区内スーパー)																																
※ 交通安全教室開催実績																																
	<table><tr><th>対象</th><th>実施回数</th><th>参加人員</th></tr><tr><td>幼児</td><td>62回</td><td>4,971人</td></tr><tr><td>小学生</td><td>51回</td><td>5,188人</td></tr><tr><td>中学生</td><td>8回</td><td>1,844人</td></tr><tr><td>高校生</td><td>4回</td><td>1,810人</td></tr><tr><td>特別支援学校</td><td>3回</td><td>116人</td></tr><tr><td>保護者</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>高齢者</td><td>5回</td><td>126人</td></tr><tr><td>一般</td><td>1回</td><td>54人</td></tr><tr><td>計</td><td>134回</td><td>14,109人</td></tr></table>	対象	実施回数	参加人員	幼児	62回	4,971人	小学生	51回	5,188人	中学生	8回	1,844人	高校生	4回	1,810人	特別支援学校	3回	116人	保護者	0回	0人	高齢者	5回	126人	一般	1回	54人	計	134回	14,109人	
対象	実施回数	参加人員																														
幼児	62回	4,971人																														
小学生	51回	5,188人																														
中学生	8回	1,844人																														
高校生	4回	1,810人																														
特別支援学校	3回	116人																														
保護者	0回	0人																														
高齢者	5回	126人																														
一般	1回	54人																														
計	134回	14,109人																														
イ 広報活動																																
<ul style="list-style-type: none">のぼり・横断幕・懸垂幕の掲示交通死亡事故多発のチラシの配布市政だより区版への掲載区役所ロビー内コミュニティビジョンによる啓発																																
ウ 子ども、高齢者への交通安全推進活動																																
<ul style="list-style-type: none">子ども達を守ろう！5000人大作戦！！(各校区)高齢者交通安全教室の実施																																
(2) 道路交通環境の整備																																
ア 通学路の歩車分離事業																																
<ul style="list-style-type: none">歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため、路側帯のカラー化を実施																																
イ 交通安全施設整備																																
<ul style="list-style-type: none">歩道、路面標示(一時停止強調)、カーブミラー、防護柵、照明灯、区画線等の新設及び補修を実施																																
2 問題点及び課題																																
令和6年中の南区における交通事故発生状況は、発生件数828件(前年比125件減)、死者数1人(前年比1人減)、負傷者数1,012人(前年比120人減)となっている。																																
今後も交通事故防止に向けた取り組みを実施し、更なる事故減少につなげていく必要がある。																																
(1) 自転車の夜間無灯火走行や並列走行等交通マナー、違法駐車等に対し、苦情が多く寄せられていることから、さらに交通安全の啓発を行う必要がある。																																
(2) 交差点及びその付近の交通事故が多発していることから、交差点付近の交通環境整備を推進するとともに、交通マナーの啓発に努める必要がある。																																

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策																						
行 政 区	城 南 区																						
1 施策の概要																							
(1) 交通安全思想の普及徹底																							
ア 啓発活動																							
<ul style="list-style-type: none">・ 新入学児童交通安全一斉キャンペーン・ 交通安全運動キャンペーン・ 飲酒運転撲滅キャンペーン・ 高齢者交通安全・防犯啓発																							
(交通安全教室実施結果)																							
<table><tr><td>対象</td><td>実施回数</td><td>参加人員</td></tr><tr><td>幼児</td><td>26回</td><td>2,011人</td></tr><tr><td>小学生</td><td>22回</td><td>2,299人</td></tr><tr><td>中学生</td><td>4回</td><td>955人</td></tr><tr><td>高校生</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>高齢者</td><td>10回</td><td>192人</td></tr><tr><td>計</td><td>62回</td><td>5,457人</td></tr></table>			対象	実施回数	参加人員	幼児	26回	2,011人	小学生	22回	2,299人	中学生	4回	955人	高校生	0回	0人	高齢者	10回	192人	計	62回	5,457人
対象	実施回数	参加人員																					
幼児	26回	2,011人																					
小学生	22回	2,299人																					
中学生	4回	955人																					
高校生	0回	0人																					
高齢者	10回	192人																					
計	62回	5,457人																					
イ 広報活動																							
<ul style="list-style-type: none">・ 懸垂幕、のぼり、ポスターの掲出																							
ウ 各校区内交通安全活動の推進																							
<ul style="list-style-type: none">・ 各校区における交通安全活動は、校区交通安全推進団体が校区自治協議会との連携を図り推進する（チラシ回覧・配布、横断歩道誘導、のぼり・看板掲出、ポスター掲示等）																							
(2) 道路交通環境の整備																							
ア 交通安全施設の整備（歩行空間の整備、道路照明灯の設置、道路反射鏡の設置等）																							
イ 道路の新設・改良（道路の舗装及び側溝の新設・補修）																							
ウ スクールゾーンの路面標示設置																							
2 問題点及び課題																							
城南区における令和6年の交通事故発生件数は274件で、令和7年度までの抑止目標である320件以下を達成した。																							
しかし、交通事故は依然として後を絶たず、死亡事故も発生しており、引き続き交通安全施策を推進する必要がある。																							
また、下記の問題点・課題の解決に向けた取り組みが必要である。																							
(1) 無灯火や右側走行、迷惑駐輪等、自転車利用者のマナーは依然として改善されていない。また、ヘルメット着用率も低いため、毎月8日の「自転車安全利用の日」をはじめとした啓発活動や警察による指導等を強化する必要がある。																							
(2) 交差点及びその周辺における出会い頭、追突の事故が後を絶たない。地域住民や交通管理者と一体となって、事故多発地点における交通安全施設の重点整備に努める必要がある。																							
(3) 子どもの交通事故数は減少したが、高齢者の交通事故が増加しており、交通安全教室等を通して、更なる交通安全の推進を図る必要がある。																							

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	早 良 区	
1 施策の概要		
(1) 交通安全思想の普及徹底		
ア 啓発活動		
<ul style="list-style-type: none">・ 四季の交通安全運動期間中に区内各所で啓発活動を実施。また、区役所庁舎にて啓発品を配架。・ 交通安全教室の実施（保育所（園）、幼稚園、小・中・高等学校、高齢者等）		
イ 交通安全教室実施結果		
	対 象	実施回数
	幼児と保護者	51回
	小学生	53回
	中学生	9回
	高校生	3回
	大学生	2回
	高齢者	15回
	計	133回
	参加人員	5,456人
		4,882人
		3,248人
		1,740人
		220人
		456人
		16,002人
ウ 広報活動		
<ul style="list-style-type: none">・ 交通安全啓発のぼり・横断幕等の掲出		
エ 子ども、高齢者への交通安全推進活動		
<ul style="list-style-type: none">・ 交通安全教室などを通して子どもや高齢者へ交通安全意識の向上を図った。		
(2) 道路交通環境の整備		
ア 交通安全施設整備		
<ul style="list-style-type: none">・ 歩道、路面標示（一時停止強調）、カーブミラー、防護柵、照明灯、区画線等の新設及び補修を実施。・ 歩道の設置が困難な通学路の交通安全推進のため、路側帯のカラー化を実施。・ 交通安全施設等に関する要望事項の調査及び警察との連絡調整。		
2 問題点及び課題		
令和6年中の早良区における交通事故発生件数は533件（前年比66件減）で、死者数2名（前年比1件減）、負傷者数674名（前年比22名減）と全体的に減少傾向であった。		
令和7年度までの抑止目標である550件以下を達成したが、引き続き交通事故防止に向けた取り組みを積極的に展開する事が必要であり、更なる事故防止に向けた啓発活動を継続していく。		
(1) 四季の交通安全キャンペーンや飲酒運転撲滅キャンペーンでの啓発・広報活動を積極的に実施することで、交通安全や飲酒運転撲滅に関する意識啓発を図っていく。		
(2) 高齢者の交通事故が依然として多いため、交通安全教室を通して、更なる交通安全の推進を図る必要がある。		

種 目	区の抑止目標達成に向け実施した施策	
行 政 区	西 区	
1 施策の概要		
(1) 交通安全思想の普及徹底		
ア 安全安心マップの作成		
交通事故が多発する交通危険箇所や、ひったくり等の犯罪危険箇所、災害時の避難所などを示した「安全安心マップ」を校区自治協議会を主体とし、各校区内の各種団体や警察署と連携して作成し各世帯に配布、交通事故等の防止へ向け注意を喚起した。(令和6年度対象4校区(西都校区、西都北校区、周船寺校区、元岡校区)実施)		
イ 交通安全教室の実施		
	対象	実施回数 参加人数
	幼児	51回 4,386人
	小学生	52回 4,178人
	中学生	10回 2,834人
	高校生	3回 2,420人
	特別支援	3回 92人
	高齢者	7回 255人
	一般	3回 148人
	計	129回 14,313人
ウ 幼児交通安全指導者研修会		
対象：幼稚園(保育園・所)長及び交通安全担当者、保育士、保護者 参加者：28名		
エ 春、夏、秋、年末の交通安全運動キャンペーンを実施		
交通安全運動期間中にキャンペーンを実施		
オ 校区交通安全街頭キャンペーンを実施		
校区ごとに交通安全運動期間中にキャンペーンを実施した。		
カ のぼり旗、ポスター、チラシ等による広報を実施		
区役所周辺等への、のぼり旗の設置やチラシの配布などで区民に広報		
キ 飲酒運転撲滅キャンペーンを実施した。		
(毎月25日(土日祝日の場合はその前の平日)姪浜駅、九大学研都市駅にて)		
ク 自転車安全利用の日キャンペーンを実施		
(2) 道路交通環境の整備		
ア 一時停止強化事業		
交差点での出会い頭等の事故が多発している区域を年次的に整備し、事故防止を図っている。(外側線や交差点クロスマーク等の路面標示、一時停止線の強調表示)		
イ 交通安全施設の新設・補修		
歩道、区画線、防護柵、反射鏡、標識、照明灯等及び路面標示の新設、補修		
ウ 交通安全施設等に関する要望事項の調査及び警察との連絡調整		
エ 自転車放置禁止区域等での放置自転車の撤去・街頭指導の実施		
オ 通学路ストップマーク貼付事業		
各校区の小学生の通学路を中心に、交差点などの交通危険箇所に路面シールを貼付し、交通事故の防止へ向け注意を喚起した。		
2 問題点及び課題		
令和6年中の西区の交通事故発生件数は707件で前年比138件減、死者数2人で前年比1人増、傷者数848人で前年比175人減で、前年度から増加する結果となったため、より一層交通事故防止に向けた取り組みを展開していく必要がある。		
(1) 四季の交通安全キャンペーンや飲酒運転撲滅キャンペーンでの啓発・広報活動を積極的に実施していく。		
(2) 子どもや高齢者の交通事故の発生件数が多いため、今後も継続して対策を行っていく。		
(3) 交差点や交差点付近での事故が多発していることから、なお一層の交通環境整備を推進していく。		